

## 平成 1 2 年 度 試 験 研 究 成 果

区分	指導	題名	切繭調査による繭品質の推定		
岩手県内で生産された繭について切歩調査による繭品質評価法を検討したところ繭層歩合により精繭糸歩が回帰できることから、精繭糸歩に選徐繭歩合を乗することにより生糸量歩合の推定が可能である。					
キーワード	繭評価	繭取引		園芸畑作部 蚕桑技術研究室	

### 1. 背景とねらい

これまで繭取引は繭検定成績、繭品質評価成績により行われてきた。平成12年度をもってこれらの繭品質評価は終了し、当事者間の取り決めによる取引に移行する。繭の品質評価は肉眼での鑑定が困難なことから、岩手県産の繭に適用できる品質評価の一方法として切歩調査による簡易な品質評価法を検討した。

### 2. 技術の内容

- (1)1998年から岩手県内で生産された繭荷口933点について切歩調査を実施したところ精繭糸歩は繭層歩合を説明変数とする一次式により回帰された。
- (2)精繭糸歩に選徐繭歩合を乗することにより生糸量歩合が得られることから、生糸量歩合は繭層歩合により推定可能であった。
- (3)精繭糸歩を回帰する場合は各蚕期ごとに別の係数を用いるのが適当であった。
- (4)精繭糸歩を推定する回帰式は次のとおりである。  
 春蚕期 :  $Y=0.2457X+14.153$   
 初秋蚕期 :  $Y=0.7003X+3.1058$   
 晩秋蚕期 :  $Y=0.6874X+2.960$   
 ただし、Yは精繭糸歩、Xは雌雄平均繭層歩合

### 3. 指導上の留意事項

解じょ率は非繰糸によって推定することができないため、製糸会社等の口挽試験の成績を参考にする。

### 4. 技術の適応地帯

全域

### 5. 当該事項に係る試験研究課題

繭品質評価業務

### 6. 参考文献・資料

## 5. 試験成績の概要

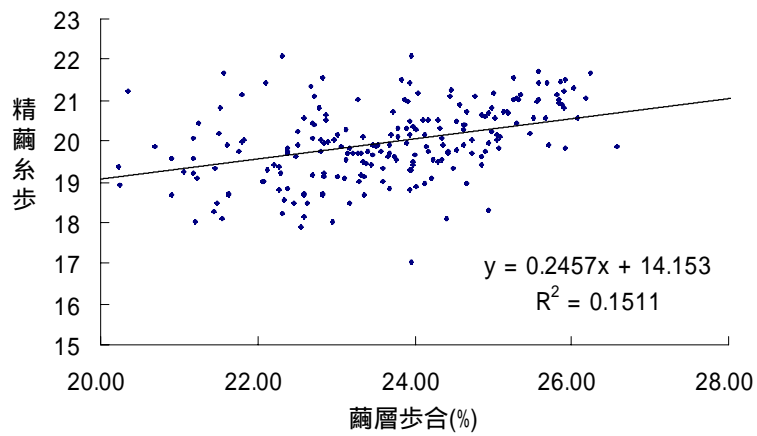


図1 春蚕期の繭層歩合と精繭糸部の分布と回帰

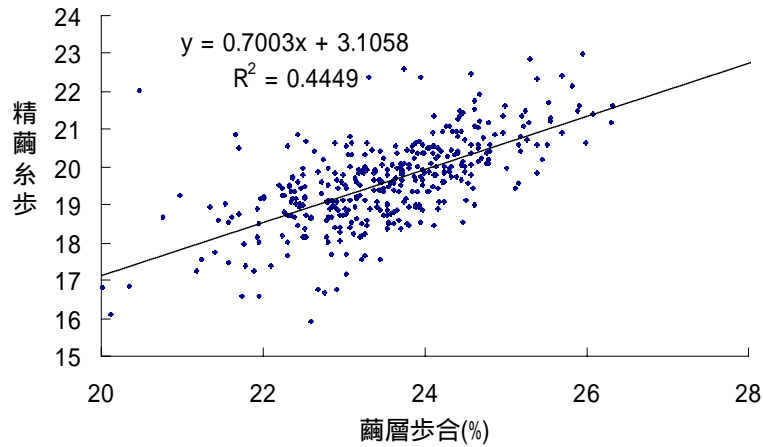


図2 初秋蚕期の繭層歩合と精繭糸部の分布と回帰

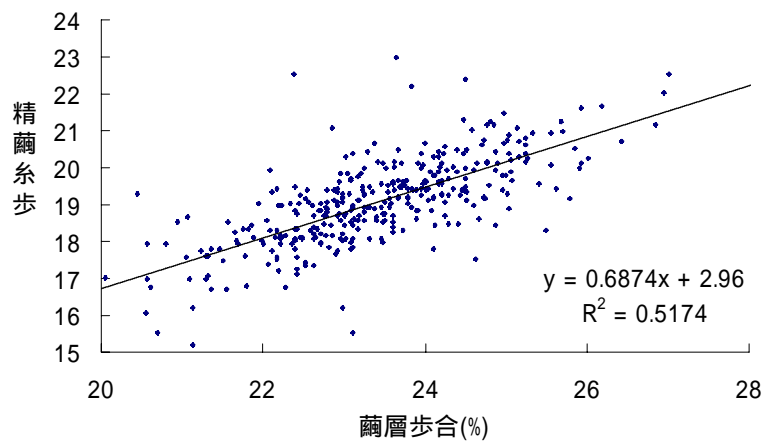


図3 晩秋蚕期の繭層歩合と精繭糸部の分布と回帰